

とくしげこうばいえん
有限会社 徳重紅梅園

無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販



特上の実をつける樹齢50年の梅の木



畑に散布する堆肥(10aあたり5トン以上)



大根占生産組合の発足式

取組概要

- 昭和37年、有機肥料主体で梅栽培を開始。その後昭和48年から加工・販売を始め、生協や農協等を通じて梅干の販売を拡大。
- 鹿児島県大根占町の梅の生産者と連携して有機栽培を広めるほか、地区の活動として有機農業実践農場も開設し実習・指導。
- 健康・アレルギー対策として、梅肉エキスも開発。また、水源地の環境や生き物の保全のための活動にも取り組む。

活動成果

- 有機栽培の健康食品として、テレビ等に取り上げられるなど、全国の顧客から高い評価を受けている。
- 大根占町の農業者の有機梅生産が定着し、平成25年に同町で生産者組合が発足している。
- 梅干加工品の発送する商品の緩衝材として、自家生産の有機野菜を同封することで、有機栽培の良さを全国に発信している。

ざいこうじ

財光寺農業小学校

さあ、広げよう 農業小学校



毎登校日での朝礼



植え方の指導



被災地に届けるタマネギの収穫

取組概要

- 地域の農業経験者や退職者が中心となり、体験・実践型の食育を企画し、地域の子どもたちに自ら土に触れ汗を流し収穫の喜びを実感させるため、平成21年に開校。
- 農業への感謝の気持ちを養うため、入校条件は、①収穫野菜をご先祖に供えること、②苦手な野菜を育てること、と設定。また、シニア世代も対象にし、交流の場として盛況。
- 小学校のバザーや駅前市などで、子どもたちは、配る・売る喜びを体感。

活動成果

- 小学生のほか、シニア世代も対象としたことから、世代間の交流の場や高齢者の生き甲斐の場となっており、同時に、モデル地区として、他地区での開校の動きにつながっている。
- 季節ごとに多品種の栽培を指導し、苦手意識を解消させると共に、農家の苦労と食物の尊さを体感させている。
- 東日本大震災、熊本地震の被災地に、収穫したタマネギを送り励ますなど、情操教育の場としている。

財光寺農業小学校(日向市役所農業畜産課)

宮崎県日向市本町10番5号

Tel :0982-52-2111

Fax :0982-52-0250

かさぎ

笠祇地区

笠祇の元気な里づくり



笠祇神社から見た全景



焼き肉フェスティバルin笠祇



てすべおどりの継承

取組概要

- 笠祇地区は、自治会を中心に笠祇クラブ、農地利用協議会等が連携して開催した「焼き肉フェスティバルin笠祇」をきっかけに、地域おこしを推進。
- 地元小学生を対象とし、もち米やそばの農業体験や、地元に古くから伝わる伝統芸能「てすべおどり」を小学生用にアレンジして継承。
- 平成24年には、かさぎ農地利用協議会を設立し集落営農を確立。伝統の野焼きを継続し、こみかんやしょうが、山菜等の産地化や6次化を推進。

活動成果

- 「焼き肉フェスティバルin笠祇」には毎年多くの参加者・リピーターがあり、「和牛の里笠祇」のイメージが定着している。
- 農業体験や伝統芸能継承（発表会や老人ホームでの披露など）が、交流人口の増加はもとより、子どもたちの豊かな感性の醸成につながっている。
- 地域資源の再発掘・活用や、伝統の野焼きなどの継続的、一体的な取組が、生物多様性などの環境保全につながっている。

笠祇地区（串間市役所）

宮崎県串間市大字西方5550番地

Tel :0987-72-1111 Fax :0987-72-6727

しきさい
四季彩のむら

昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山



美しい農村風景と田んぼアート



稲刈体験後の様子



むらコンで田植で交流中

取組概要

- 平成13年、町の「四季彩のむら整備事業」を活用し、地権者12名で「四季彩むら」を設立、昭和30年代の農村風景を残すことをコンセプトにむらづくり。
- 石積みの棚田で稲やそばを作付け、農村景観や自然環境保全に取り組み、地域住民や来訪者に環境学習と安らぎの場を提供。
- 四季折々の景色を楽しむとともに、「むらコン」「彩りリレーマラソン」「田んぼアート」などのイベントを開催。

活動成果

- 来訪者の増加により、「高鍋湿原」の見学者や総合交流ターミナル施設の利用者が増加するなど相乗効果が出ている。
- 美しい農村風景を背景に、農業体験を通じた交流を始め、むらの散策、川上神社への参拝、高鍋温泉めいりんの湯などのコースが人気となっている。
- 四季彩のむらを基点に老若男女問わないイベントの開催が、周辺地域の活性化につながっている。

四季彩のむら

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

そめがおか

染ヶ岡地区環境保全協議会

きゃべつ畑のひまわり祭り



きゃべつ畑のひまわり風景



上空から見たひまわり迷路



メインストリートを歩く来訪者たち

取組概要

- 農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成21年、農業者、自治会、消防団等で協議会を設立。
- きゃべつ、白菜の産地であり、口蹄疫の発生で堆肥の持ち出しができず、緑肥として活用していたひまわりに着目し、地域全体で植栽、現在は80ha規模に。
- 8月には「きゃべつ畑のひまわり祭り」を開催。女性農業者や町内団体等も活動も盛んとなり、婚活イベントやバーベキュー等で賑わう。

活動成果

- 農地・水等の保全はもとより、ひまわりは景観だけではなく、土壌対策にもなり、きゃべつの連作障害がなくなっている。
- ひまわりの植栽面積が80ha(1,100万本)と大幅に増加し、地域が一体となった取り組みになっており、子どもたちにも大人気。
- インターネットでも情報を発信し、全国から来訪者が増加し、町、商工会、観光協会等各種団体も参画し、町を挙げたイベントに定着している。

染ヶ岡地区環境保全協議会(高鍋町産業振興課)

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

チームがはは

《でけたよ～！浜うどん》



小学校で「浜うどん」の出前授業



特定健診受診者へ振るまう



宮崎ブーゲンビリア空港で販売

取組概要

- 平成22年の口蹄疫発生を背景に地域経済の復活を目指し、町内のJA・漁協・商工会の女性部や異業種団体の女性を中心に組織化。
- 毎年開催されていた「東児湯鍋合戦2010」に参戦、魚を練り込んだ麺の改良で2011年には優勝。その後、地元食材をふんだんに用いながら、シイラを使った「浜うどん」が誕生。
- 町内の小中学校での調理実習や学校給食のほか、高齢者施設等へも提供。

活動成果

- 「東児湯鍋合戦2011」の優勝を機に「浜うどん」を郷土食としてPRし、県民にアピール・認知を得て、現在は約1千食まで伸びている。
- 川南名物「シイラ」の地産地消の推進につながり、乳性カルシウムを加えることで、栄養価の高い麺になった。
- 学校給食の利用や離乳食への活用、高齢者施設での利用、地元飲食店のメニューや直売所での販売、ふるさと納税の商品としても販売にも至っている。

チームがはは

宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1 Tel :0983-27-8014 Fax :0983-27-5879

たかちほちょう

高千穂町農産物加工連携会議(T-キッチン)

T-キッチン



連携会議の会合



ふるさと便の発送作業



イベントに出店

取組概要

- 高千穂町内で生産される夏秋野菜（キュウリ・トマト）、果樹（栗・きんかん・ゆず）、工芸作物（茶・葉たばこ）の産地ブランド化と加工の一体化と経営強化のため、平成24年にT-キッチンを設置。
- 4つの加工グループの手作り加工品の詰め合わせを販売。イベント等にも積極的に出店。
- 特に、世代間のつながりや交流を図るため、「食のコミュニティ」と銘打ったイベントを開催し、食の魅力を発信。

活動成果

- 町内の加工グループは、個人経営の加入が多かったが、本会の設置により研修や加工品の開発、ふるさと便などの販売活動において連携強化が図られた。
- 地元農産物や加工品のPR活動の中で、新たに起業したり、新商品を開発したり、町内加工グループの意識向上につながった。
- 世代間における食の伝承や、町内の関係者の協力体制が強化され、生産者と消費者の交流が活発となった。

高千穂町農産物加工連携会議(T-キッチン)

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字向山1232番地

Tel :0982-83-0808 Fax :0982-83-0809

たかちほ
高千穂ムラたび協議会

限界集落が挑戦する 未来のムラづくり



エコミュージアム施設で食事を提供



あまざけ等の原料栽培で景観保全



あまざけやどぶろくの生産

取組概要

- 若者を中心とした事業体制、製薬会社等専門機関との連携など体制を整え、あまざけやどぶろくを生産。
- 川のりやはちみつなど希少食材を前面に、この集落でしか味わえない料理を農家民宿や古民家食堂で提供。
- 棚田など山間地特有の農業景観、秋元神社等神話史跡を活かしたエコミュージアムを展開。

活動成果

- 直売所、加工品、農家民宿等の事業収益は約8百万円から約3千4百万円と約4倍増加(H23-27)。
- 農家民宿等の訪問者は約5百人から約2千人と約4倍増加(H23-27)。
- 年間3万人を超える交流人口を創出、近年、アジアやヨーロッパからも訪問。

高千穂ムラたび協議会

宮崎県西臼杵郡高千穂町向山6604

Tel :0982-72-7226

Fax :0982-82-2283

ご か せ

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり



五ヶ瀬風の子自然学校の田植え



「四億年の大地」のお米



益城町でカボチャの作業支援

取組概要

- 五ヶ瀬自然学校は、町内の若手を中心の組織で、五ヶ瀬町及び周辺地域で、自然、資源、人を最大限に生かした地域づくりを行うため、平成17年に設立。熊本地震支援活動にも取り組む。
- 鞍岡小学校の児童を対象に、農作業や自然体験。さらに周辺地域を対象に、五ヶ瀬山学校子ども探検隊活動や防災教育を、年間を通して実践。
- 当地で特別栽培の美味しい米を「四億年の大地」というブランド名で直売。

活動成果

- 自然学校の活動により、鞍岡小学校の児童は30名前後で維持されているとともに、当地出身の大学生が応援。被災地支援では、40トンの支援物資を配送、約700人のボランティアも派遣できた。
- 五ヶ瀬川流域の教育委員会と連携し、チラシ等でPR。自然体験の申込みが増加し、実施回数を増やして対応している。
- 9トン程度の安定したブランド米を販売し、後継者が帰ってきた。これに委託する高齢農家の動きも出てきている。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙

Tel :0982-73-6366

Fax : 同左